

【調査概要】

調査対象 : 消費者（NTTコムにアンケートモニターとして登録している者）

調査期間 : 2019. 3. 12（火） ～ 2018. 3. 14（木）

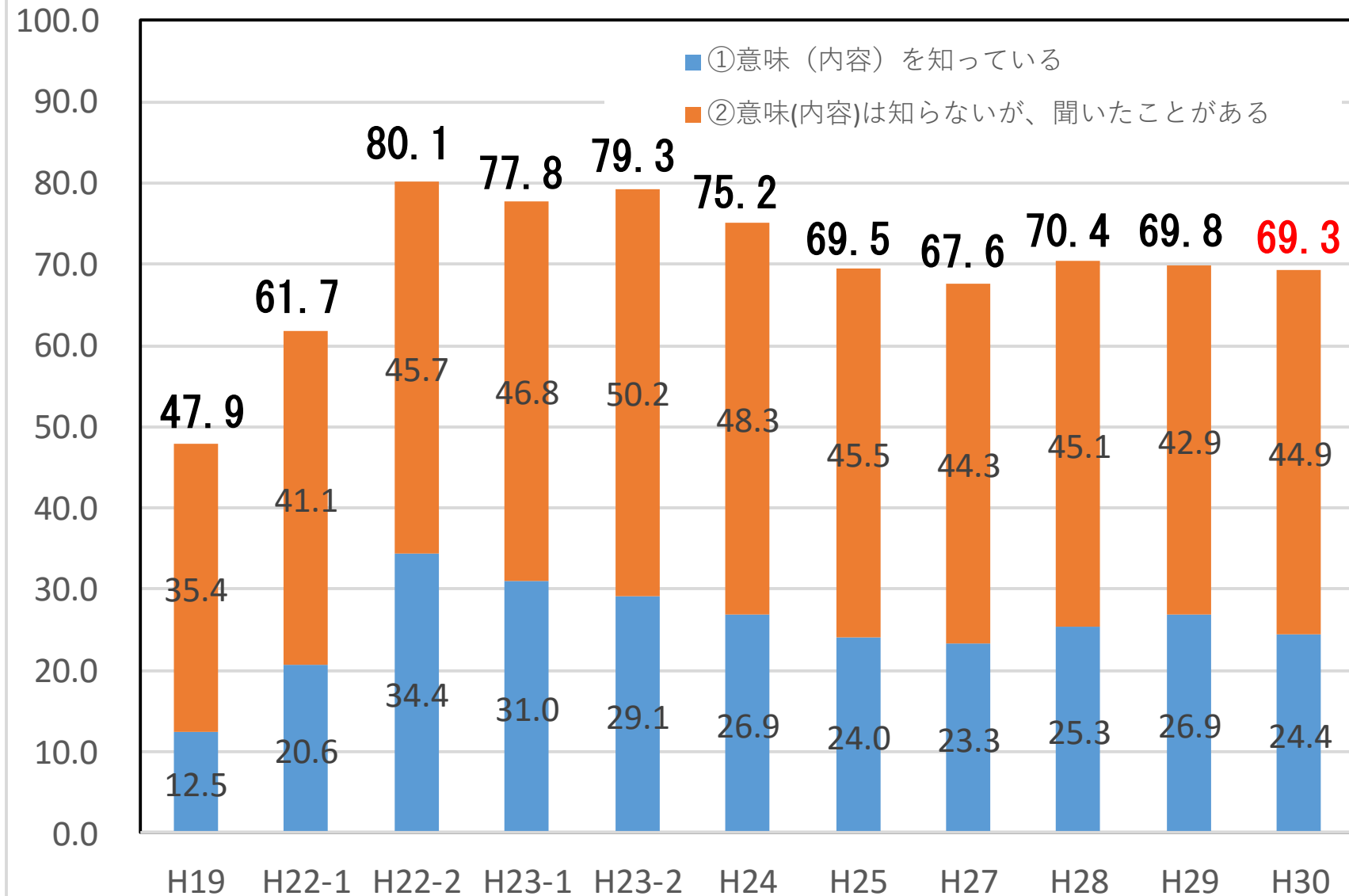
総回答数 : 1,000サンプル
（男女別、年代別（20代、30代、40代、50代、60代）で100サンプルずつ）

調査方法 : インターネット調査

調査機関 : NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション

「生物多様性」の認知度調査の結果（時系列）

認知度(%)



※H24までは上記に加えて「知らない」の3択の設問であったが、H25以降はさらに「わからない」を加えた4択として実施

生物多様性に関する行動をしている人は？

問 生物多様性を保全し、生態系からの恵みを受け続けていくため、あなたは日常的にどのような行動をしていますか。次の中から当てはまるものをいくつかあげてください。

	全体		
		100.0	%
1	旬なもの、地のものを選んで購入する	48.7	%
2	身近な生き物を観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう	25.1	%
3	エコツアー(ガイドによる自然体験)に参加する	7.3	%
4	自然保護活動や美化活動に参加する	14.5	%
5	生き物を最後まで責任を持って育てる	31.9	%
6	環境に配慮した商品を優先的に購入する	30.4	%
7	自然や生き物について、家族や友人と話し合う	19.4	%
8	節電や適切な冷房温度の設定など地球温暖化対策に取り組む	52.8	%
9	その他	0.3	%
10	行動していない	21.0	%

「生物多様性」の認知度は約7割だが、約8割の人は生物多様性に関する行動を実施している。

(参考) 行動していない理由は？

問 あなたが前問にて、「行動していない」を選択した理由に近いものをお選びください。

		H30年度		(参考)H29年度	
		実数	%	実数	%
全体		210	100.0%	203	100.0%
1	生物多様性に関心がない	36	17.1%	51	25.1%
2	生物多様性に関心はあるが、自分が行動しなくても問題ない	10	4.8%	10	4.9%
3	生物多様性に関心はあるが、何をすればいいのかわからない	34	16.2%	32	15.8%
4	その他	20	9.5%	2	1.0%
5	わからない	110	52.4%	108	53.2%

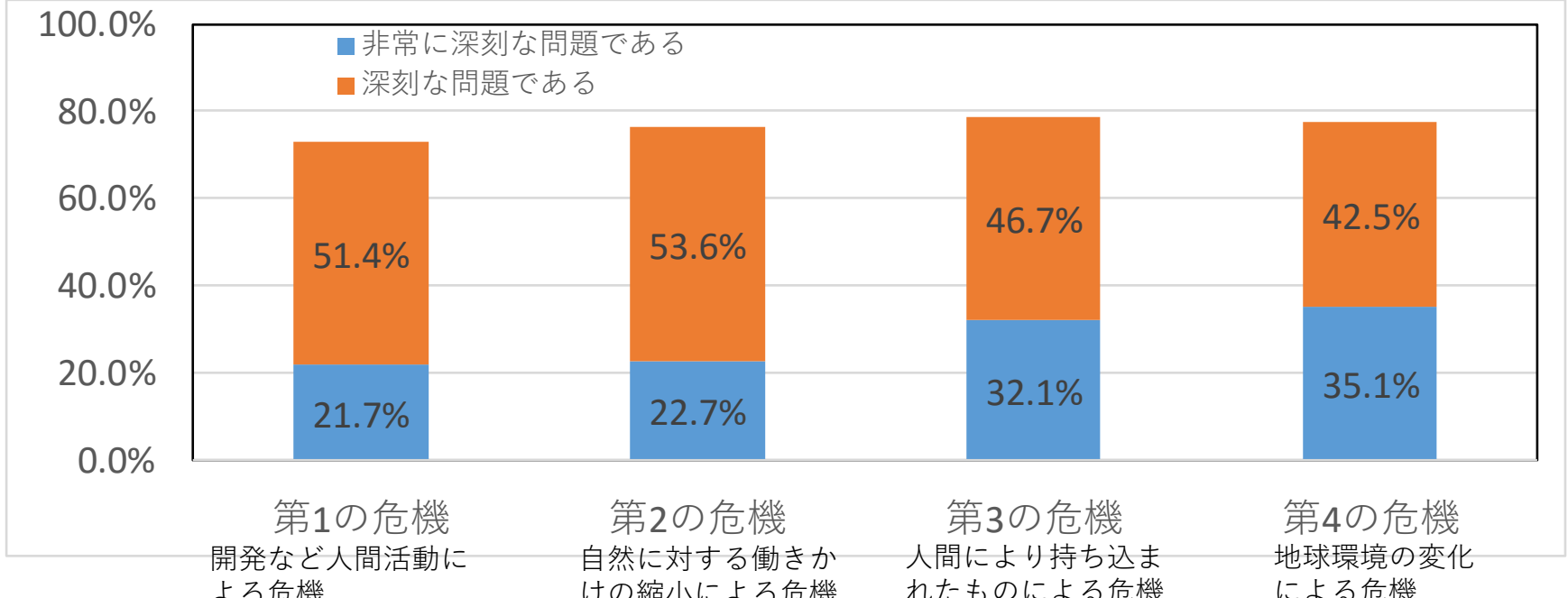
問 あなたが前問にて、「生物多様性に関心がない」を選択した理由に近いものをお選びください。

		H30年度		(参考)H29年度	
		実数	%	実数	%
全体		36	100.0%	51	100.0%
1	生物多様性以外の環境問題に関心がある	1	2.8%	2	3.9%
2	環境問題以外の社会・経済問題に関心がある	8	22.2%	18	35.3%
3	その他	10	27.8%	3	5.9%
4	わからない	17	47.2%	28	54.9%

生物多様の危機に関する認識は？

問 (各々の危機について説明した上で、4つの危機ごとに) 第〇の危機について、あなたはどのように考えていますか。この中から一つだけお答えください。

	第1の危機	第2の危機	第3の危機	第4の危機
非常に深刻な問題である	21.7%	22.7%	32.1%	35.1%
深刻な問題である	51.4%	53.6%	46.7%	42.5%
あまり深刻な問題ではない	9.1%	6.9%	6.0%	8.2%
全く心配はない	4.5%	4.0%	3.5%	3.6%
わからない	13.3%	12.8%	11.7%	10.6%

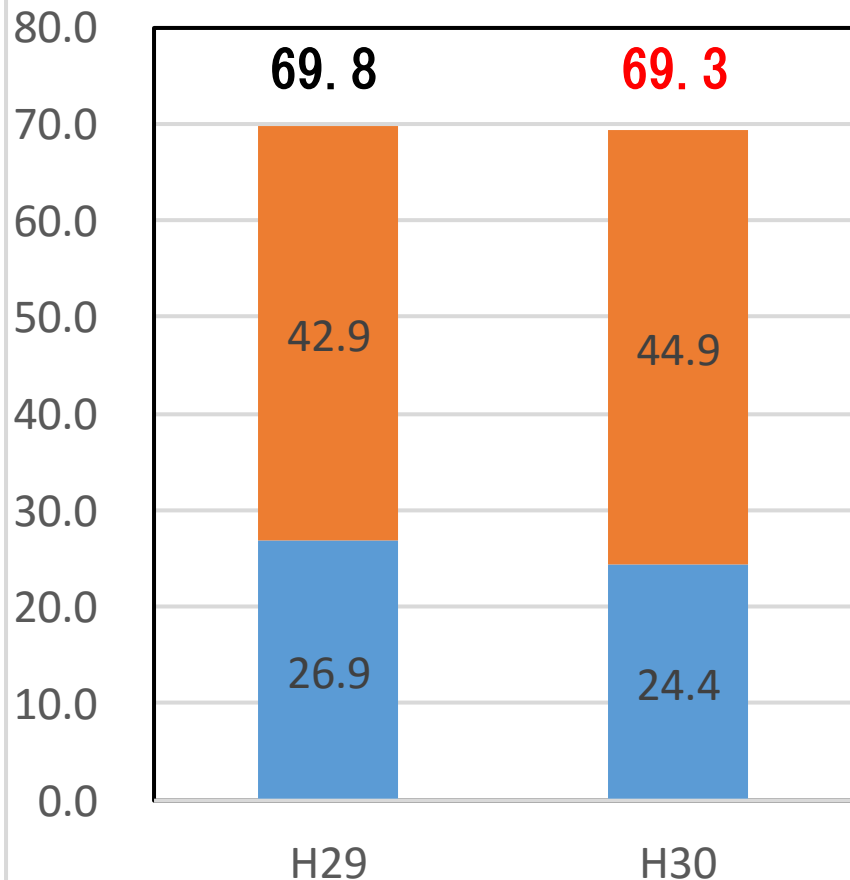


「生物多様性」と「SDGs」の認知度の比較

認知度(%)

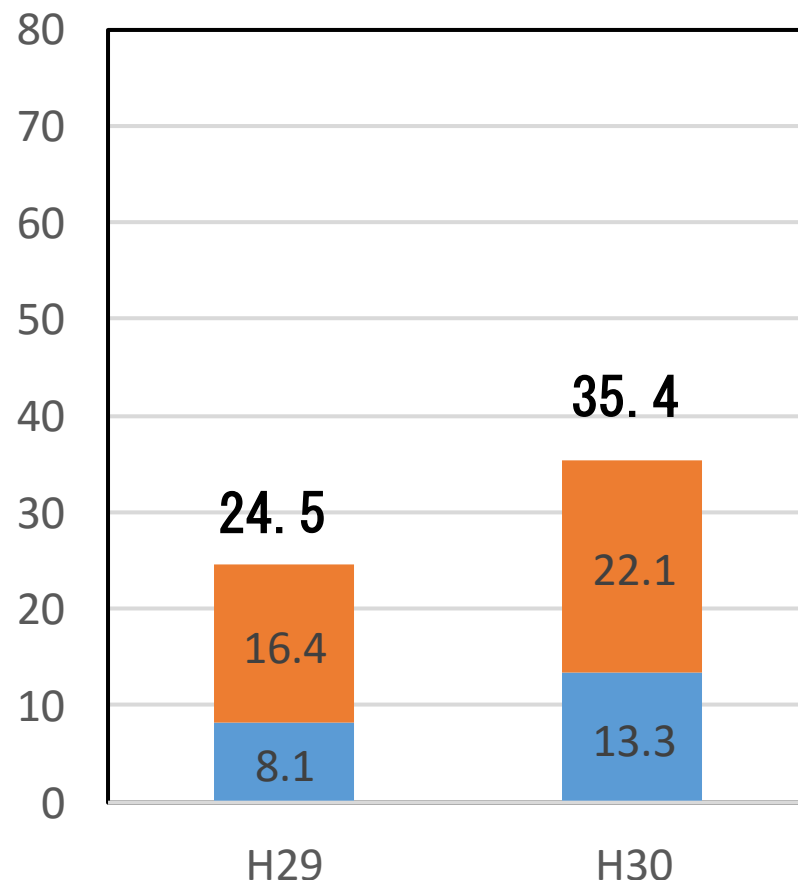
生物多様性の認知度

- ②意味(内容)は知らないが、聞いたことがある
- ①意味(内容)を知っている



SDGsの認知度

- ②意味(内容)は知らないが、聞いたことがある
- ①意味(内容)を知っている



(参考) 自然への関心度

問 あなたは、自然についてどの程度関心がありますか。

